

(様式3)

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	知夫村立知夫中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習 の時間	実際に知夫にある課題を解決するためのプロジェクトの実行	保護者・知夫村民・役場職員 ・どっさり祭り
ねらい	<p>○学ぶ喜びや充実感を味わい、学習意欲や追求意欲を高める。 ○ふるさと知夫の「ひと・自然・文化」等に進んで関わりながら、豊かな人間性や社会性を培う。 ○ふるさと知夫に対する愛着と誇りを持ち、知夫のために行動しようとする意欲と態度を育てる。</p>		
<p>1 取組の概要 「だんだんプロジェクトチーム」、「イベントプロジェクトチーム」の2グループに分かれ、地域の伴走者の方の指導や支援をいただきながら探究活動と実践に取り組んだ。その成果を村長や役場各課課長等をはじめ関係者に発表し、発表後に懇談会を行った。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・課題意識とふるさとへの思いを高めるために、学習のはじめと中間に関係者の話を聞いた。 ・地域の実態を知るとともに、貢献意欲を高めるために地域の方へアンケートを行った。 ・自分に身についた力を確認するとともに、大人とのコミュニケーションをとおして社会参画への意識を高めるためにPR活動、成果発表会、懇談会を行った。</p> <p>(学力育成の視点から) ・コミュニケーション力、プレゼンテーション力を高めるために、関係各所へ連絡やインタビューをしたり、どっさり祭りで来場者にプレゼンテーションを行ったりした。 ・情報処理能力やICT活用能力を高めるために、アンケートの作成、集計、まとめを行うとともに、専門的な立場の方々から助言や問いかけを継続的にしていただいた。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・ふるさとを思う力 ・協力する力 ・社会参画意欲</p> <p>(学力育成の視点から) ・課題を設定する力 ・コミュニケーション力 ・情報を収集する力 ・ICT活用能力</p> <p>4 課題や今後の展望 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、地域に出る活動が制限されることがあった。今後も対策を取りながらできる学習を行っていきたい。 ・一人一人の活動の場面(特に校外に出て活動する場合)で引率やサポートをする教職員が足りなくて困ることがあった。 ・学校と教育委員会と伴走者の役割分担がはっきりせずに戸惑うところがあったので、来年度はしっかりと確認して活動を進めていきたい。</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

- ・「発表会ありき（見せるための学習）」みたいな感じになって、発表会間近になって準備に追われたり、完成度（見栄え）を高めるために教職員の支援が入りすぎたりするような感じがあったので、次年度以降はしっかり計画を立てるとともに、発表会のあり方についても検討していきたい。



*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)